

サービス業部会

中部大学生との懇談会 実施結果

内容

就職活動における学生の考え方や、企業選択の基準について、貴重な意見をお聞きした他、学生からも質問を受けるなど、意見交換を行いました。

日時

令和7年1月22日(火)13:30～15:30

出席者

サービス業部会長、副部長 3名、岡部副会頭、
中部大学 経営情報学部生 5名、事務局 2名



実施の様子

AI
による
総評

中部大学生の就職活動は、賃金や知名度が第一の基準ではなく、「**職場の雰囲気**」「**成長環境**」「**安定性**」など、バランスの取れた視点で判断されている。

また、**インターンシップ**が就職活動における重要なステップとなっており、**企業との接点を通じて自身に合った職場を見極める動き**が活発である。

企業側としては、学生に対し**明確な採用方針**を伝えるとともに、**企業文化**や**働きやすさ**をアピールすることが、今後の採用活動において重要となる。

詳細な意見は次ページへ→

学生からの意見まとめ

就職先 選びの 基準

- 学生は「**環境**」「**キャリアの可能性**」「**企業の魅力**」の3点を重視。特に、**職場の雰囲気**や**企業の成長性**を重視する傾向が見られた。
- インターンシップを通じた**企業理解が重要な判断基準**となっている。

インターン シップの 重要性

- 学生の**多くがインターンシップに参加**し、**企業選びの参考**にしている。
- **短期間**のものが多く、**文系・理系**で参加期間に違いがある。

家業・ 縁故入社

- 家業を継ぐ**選択肢はあるが**、**強制されるケースは少ない**。
- 縁故入社は**一定数存在し**、**卒業生とのつながり**が有効に働くこともある。

企業 選びの 判断材料

- **企業の雰囲気**や**経営の安定性**を重視する傾向が強い。
- **口コミ**や**OBOG訪問**を活用し、**ネット上の評判**も参考に**する**。
- 賃金の高さだけでなく、**企業の持続可能な成長性**を考慮する学生もいる。

企業に 求める もの

- 企業側が**求める人材像**や**スキル**を**明確に伝えてほしい**という声が多い。
- **キャリアビジョン**を**明確に持つこと**を求められるが、**実際にどう成長できるか****企業の支援を知りたい**と考えている。

地元志向 の強さ

- 中部大学生は**地元志向**が強く、**実家から通勤**を希望する学生が多い。
- 経済的理由から**一人暮らしを選択しにくい**現状も影響。

企業理念 への関心

- 選考過程では**企業理念**を意識するが、**就職先決定の決定打**にはなりにくい。
- **理念と実際の企業文化が一致しているか**を重視。

飲み会や 社内イベント への意識

- **仕事以外での交流**を**重要視**する学生も多く、**社内の懇親会**などには前向き。
- しかし、**内容次第で参加を判断**する傾向も。

就活の 情報収集 方法

- 学生は大学の**就職支援課**をあまり頼らず、**自主的に情報を収集**。
- 企業の情報は主に**就職サイト**や**インターンシップ**を通じて得ている。